

第48回卒業証書授与式

副校長 松元啓介

3月11日、暖かい穏やかな日差しのもと、263名の卒業生が巣立っていきました。緊急事態宣言の発出中に行われた卒業式は、卒業生と教職員だけの出席で行われました。卒業生の保護者には、1年生の教室で卒業式のTV放送を見ていただきました。

9時30分、教職員の温かな拍手に迎えられ、コサージュを付けた卒業生が入場しました。卒業証書授与では、校長先生から卒業証書が一人ひとりに手渡されました。担任の先生の呼名への返事は禁止されていましたが、卒業生は始終落ち着いた態度で、ステージではしっかり前を向くなどきちんとした姿勢で呼名に十分に応えていました。

在校生代表の仁科佑基さんの卒業生を送ることばは、卒業生への感謝の気持ちがこもった落ち着いた語りで、卒業生に十分伝わるものでした。

卒業生代表の阿部剛大さんの別れのことばは、3年間の思い出を丁寧に語り、卒業生全員が思い出を共有する時間となるとともに、先生方への感謝、保護者の方への感謝の気持ちもしっかりと伝わる内容でした。

お別れの生徒合唱は、高橋紗世さんの指揮と中野亜優さんの伴奏に合わせて「旅立ちの日に」を合唱しました。歌の練習が制限されて十分な練習はできませんでしたが、とても丁寧に歌唱し、一人ひとりの声が響いて歌詞の内容と相まって感動的な合唱となりました。

式の後、保護者は体育館に移動し、最後の学活を終えた卒業生を大きな拍手で迎えました。卒業生は保護者の間を歩き、中学校での最後の姿を見てもらいました。

昨年度と同様に制限があるなかでの実施でしたが、教職員が様々に工夫をし、それに応えた卒業生の態度が思い出に残る素晴らしい卒業式を作り上げました。

卒業式の実施にあたり、ご理解・ご協力をいただきました来賓の方々、保護者の皆様に感謝いたします。職員一同お礼を申し上げます。



学校長式辞【要旨】

263名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

緊急事態宣言下での卒業式となり、様々な心配をして臨んだ今日の式ですが、皆さん一人一人に直接卒業証書を手渡すことができました。一斉臨時休校により6月から始まったこの1年間でしたが、富岡中は最後までこの体育館で全校生徒が一堂に会することができず、3年生が集まった姿を直接後輩に見せる機会はありませんでした。しかし、皆さんの普段の授業に向かう姿勢や挨拶をする様子、また委員会活動や部活動で中心となって活躍する姿は、後輩の良き手本となりました。唯一全校で取り組んだ体育祭は半日であり、種目や内容も制約されていましたが、行事に向かう3年生の素晴らしい態度を後輩に見せてくれました。富岡中の伝統が引き継がれていくことを確信することができた日でした。

「新しい生活様式」により、不便になったこと、気を遣うことが増えました。それでも、ウィズ・コロナの中でできることを皆さんと一緒に考え、実行してきました。みんなで取り組むことで価値が生まれることを理解しました。社会を支えるために身を粉にして仕事をしている方々を理解し、豊かで優しい人間性を育むこともできました。

このように激動の1年を過ごした皆さんは、これらの経験から得たもの、学んだものが沢山あります。互いに支えあうこと励まし合うことの大切さ、共に学ぶことの楽しさ、協調や団結から生まれる感動、差別や偏見、誹謗中傷の愚かさ・・・、取り上げたらきりがありません。

今回私たちが経験したのは感染症ですが、地震や風水害と同じく、くるかもしれないと警告があったことが現実となってしまいました。これからも色々と困難なことがあると思います。是非、今回の経験を活かして、将来の苦難を乗り越えていってほしいと願っています。

最後になりますが、3年前の入学式で私は、江戸時代の儒学者、伊藤東涯の言葉「学をなすに三要あり。志なり、勤なり、好なり」という話をしました。

「志（こころざし）」を持って勉強すること。「勤（きん）」、真面目にコツコツと勉強すること。「好（こう）」、面白く感じて勉強すること。

皆さんは、この三要にしっかり取り組んでくれた3年間だったと思います。そして次の後期中等教育での学びが大切です。自分の特性を見つめ、また新たな仲間と学校生活を楽しみ、さらに成長をしてくれることを願っています。



別れの言葉 【要旨】

卒業生代表 元生徒会長 阿部 剛大

三年前の春、この場所で入学式が催されました。これから新たに始まる学校生活への期待と不安を胸に、この体育館へ入ってきたことが今でも鮮やかによみがえります。

一年生で、三浦海岸付近で行ったウオークラリーでは、雨天の中見慣れない土地で交流のまだ少ない仲間と歩きました。

二年生で、山梨県の西湖を訪れた自然教室。長い時間歩いたハイキングでは木漏れ日や、鳥のさえずりと森の暖かさを感じ、一方、夜のナイトウオークでは、何も見えず音もない世界に怖さを感じ、周辺の豊かな自然を味わいました。また、約三日間クラスの仲間と過ごすことで、一層仲を深められました。

二回目となった創夢祭。毎年各授業や、部活動の作品の展示には目を見張ります。そして、合唱コンクールでは、今年開催できなかったため、二年生で事実上最後となってしまいました。合唱の練習は、朝早くから放課後の遅くまで、歌うことを繰り返す単調な練習で、辛いこともありました。しかし、練習を重ねる中で、少しずつきれいになる合唱に嬉しさを感じ、本番で頑張ることが出来ました。本番では大勢の観客を前に緊張しましたが、三年生で中止となったことに悔いは残らないぐらいのパフォーマンスができました。

三年生最後の行事となった体育祭。午前の時間だけとなってしまいました。同窓会の方々から頂いた三色のTシャツは色ごとの団結を強めるものとなりました。個人競技では、部活動を引退し長く体を動かしていなかったため、思うように体が動きませんでした。応援席では学級対抗リレー、色別対抗リレー、大縄跳びの種目に盛り上がり、充実した時間を過ごすことが出来ました。

在校生のみなさん、今まで私たちを支えてくださりありがとうございました。卒業にあたって、日頃は実感することはありませんでしたが、今思えば富岡中学校ほどこんなにも緑に囲まれ、静かな環境で勉強や部活、学校生活を送れる学校はないと思います。在校生のみなさんは残りの学校生活を富岡中学校の良さをかみしめながら、大切に過ごしてほしいです。そして、今日私達はこの富岡中学校をあなた達に託します。今よりも素敵な学校にしていって下さい。

そして、私たちを十五年間一番近くで見守り支えてくれた保護者の方、素直になれず返事をしなかったり、言うことを守らなかったりしたこともありましたが、いつも励まし、味方でいてくれてありがとう。これからは迷惑をかけますがよろしくをお願いします。

新型コロナウイルスの影響によって、生活、社会、世界は変わりました。これから、元に戻らないこともきっとあるでしょう。しかし、それでも新しい生活の中で、富岡中学校で学んだことを糧に、さらに成長し力強く生きていきます。

富岡中学校のますますのご発展を心からお祈りして、別れの言葉といたします。



令和3年度4月行事予定（概要）のお知らせ

月	日	曜	行 事
4	7	水	始業式・入学式
	8	木	離任式・対面式・生徒会オリエンテーション(1年)
	9	金	部活動オリエンテーション(1年)
	12	月	身体計測・新体力テスト・部活動仮入部開始(1年)
	15	木	歯科検診(3年)・学級懇談会
	16	金	避難訓練
	19	月	朝会・生徒会認証式
	20	火	専門委員会
	22	木	内科検診(1年)・部活動本入部開始(1年)
	23	金	教育相談(23, 26~30日)
	27	火	横浜市学力・学習状況調査
	28	水	個別支援級遠足
	30	金	尿検査

生徒の皆さんへ

- ・4月7日(水)は、8:10から中庭・各学年昇降口付近にて、新しい学級の名簿を掲示します。当日は名簿で学級を確認したのち、8:40までに新しい教室にて着席してください。
- ・現在使用している健康観察票は春休み中も継続して記録し、7日(水)も持ってきてください。4月分は、7日に配付します。

【標準服について】

防寒面および機能面、そして社会的な多様性を考慮して、富岡中学校では令和3年度より、標準服に女子用スラックスを導入します。新入生保護者説明会にて新1年生へのお知らせはしておりますが、在校生につきましても、購入を希望される方は『シーガルスクール』『つつい』『T&Y』まで、お問合せください。

【福祉委員会による募金活動】日本赤十字社（コロナ対策募金）の報告

3月3～5日に、福祉委員会が募金活動を行いました。その結果、『13201円』集まり、24日(水)日本赤十字社に送りましたことを報告いたします。ご協力ありがとうございました。